

身の周りのかんきょう

浜松市内小学校

岡部 さん

ぼくは身の周りのかんきょうを守っていくために、日々いろいろなことをしています。

例を挙げると、木に引っかけたビニール袋を取って処分したり、生ゴミはコンポストに入れたりするなどです。

なぜ、このようなことをしているかというと今、廃プラと地球温暖化などの問題が起こっているからです。だから、海に行った時には袋を持っていき捨ってから帰りたいです。

次は節約についてです。ぼくは夏休みの間、三つの節約に力を入れました。

一つ目は電気です。なるべく電気を使わないために、食べられる量だけご飯を作ってもらい、後で温める分の電気を使わなくて、いいようにして節電しました。さらに涼しい日はエアコンを使わずに、窓を開けるなど、いろいろな方法に取り組みました。そうしたので先月の電気使用量より少しだけ減っていたのでこれからも続けたいなと思いました。

二つ目は水です。ぼくは水道水を節約するために雨の日はバケツを

二つ程度外に置き、雨水をためて、その水を畑や植物や庭にまくようにしました。また、暑い日に水遊びをする時には川に行きました。その成果もあり、水道使用量が先月に比べて一立方メートルも減っていたのでうれしかったです。このようなことをみんなでやれば、水のむだ使いが減り、よりよいかんきょうになるとと思います。

三つ目は野菜などの食品の節約です。日本だけでも、一年に大量の食品ロスが出ています。そのもったいなくかわいそうな食品を減らすために、お店に行って買う時なるべくおつとめ品になっている物や割り引きシールがはってある商品を買うようにしています。もしその商品が期限切れになり、お店で処理されるとさらに食品ロスが増えてしまうからです。この取り組みを世界中に広げられるのなら、世界の食品ロスはかなり減ると思います。

このように、自分の身近なことから、何ができるかを考える人が増えれば、ぼくたちのかんきょうは、もっともっと住みやすいものになると思います。ぼくは、自分が実せんしていることをみんなに教えたり、逆にみんなが取り組んでいることを教えてもらったりして、社会全体でかんきょうを守るための活動が広がってほしいと思っています。そして、地球がいつまでも元気でいられるようにしたいです。